

# 千歳町まちづくり

## 七福プラン Version II



令和 7 年 1 1 月

亀岡市千歳町自治会

千歳町安全・安心のまちづくり推進会議

## 目 次

### I はじめに

計画策定の背景  
計画の目的  
千歳町の概要

### II まちづくりの現状と課題

人口減少・少子高齢化  
空き家の発生  
農林業の動向  
文化・歴史・社会資源の保全と継承  
生活環境の向上

### III まちづくりの基本理念

### IV まちづくりの基本目標

### V 具体的な取り組み

### VI まとめ

### <資料>

- ・千歳町安全・安心のまちづくり推進会議設置要綱
- ・令和7年度千歳町安全・安心のまちづくり推進会議組織図
- ・令和6年度「千歳町安全・安心のまちづくりアンケート」調査報告書（概要版）
- ・参考文献一覧
- ・本計画に携わった委員名簿

## I はじめに

---

### 計画策定の背景

---

- 令和7年（2025）は、亀岡市制70周年を迎えている。同時に南桑田郡千歳村から亀岡市千歳町になって70年の節目となる。
- 発展する亀岡市の中心市街地に近く、のどかな農村集落として継承されてきた千歳町も、時代の変遷に変わらず人口減少、少子高齢化が加速度的に進んでいる。
- 令和6年度に実施した「千歳町安全・安心のまちづくりアンケート」（以下「まちづくりアンケート」と呼ぶ。）から見える住民の思いを反映させることが必要となる。
- 平成21年（2009）に千歳町安全・安心のまちづくり推進会議発足時にまとめられた活動指針である「千歳町まちづくり‘七福プラン’」があり、当計画に沿いながら同推進会議メンバーにより活動を継続してきているが、15年以上が経過している。

### 計画の目的

---

- 千歳町は、緑豊かな里山に抱かれ、豊穡の田園が広がる恵まれた環境にあり、脈々と受け継がれてきた人々の営みによって支えられてきた。地域に住まわれているある作家が「とかいなか」と表現されたように、亀岡市の中心市街地や京都市など大都市にそう遠くない位置にあり、心のゆとりと豊かさを育む最適のまちとして「住み続けたいまち」「訪れてみたいまち」さらには「住んでみたいまち」をめざしたまちづくりを進めることが求められている。
- まちづくりは、そこに住まう人や移り住んできた人が、地域ぐるみで目標を共有しながら共同社会を守り、発展させていくことが大切である。その指針として具体的な取り組みを含め、計画をまとめることとした。



千歳町の里山風景



## 千歳町の概要

○位 置 JR 亀岡駅から東北方向へ千歳町自治会館（町中心地点）までは約 5 km。

○地 勢 南北約 4 km、東西約 3 km。町域面積 9.79 km<sup>2</sup>。東に牛松山から千年山（最北は三郎ヶ岳）に連なる山々を仰ぐ。麓を通る主要地方道亀岡園部線沿いに集落が点在している。それぞれの集落西側には田園が広がっている。

○沿 革 明治 8 年 桑田郡小口村、出雲村、中村、江島里村が合併し千歳村となる。地域では「元千歳」と呼ぶ場合がある。

明治 1 2 年 桑田郡が南北に分割。  
南桑田郡千歳村となる。

明治 2 2 年 南桑田郡国分村、毘沙門村が千歳村に合併。

昭和 1 0 年 元中村を廃止、中・北谷に分離。

昭和 3 0 年 亀岡町及び周辺 1 5 ケ村が合併。

亀岡市が誕生し、亀岡市千歳町となる。同年、千歳町自治会が組織される。

昭和 6 2 年 出雲区から出雲台区が分離し、8 区となる。



千歳町の案内図

○見 所 （景観・風景）

七谷川周辺（同河川敷、和らぎの道、さくら公園、七谷川野外活動センター）  
耕雲寺など高台からの眺望（棚田風景、田園風景、夕焼け）

（歴史、文化、風習）

丹波国分寺跡（国指定史跡）

出雲大神宮（国指定重要文化財：本殿）

愛宕神社（国指定重要文化財：本殿）

千歳車塚古墳（国指定史跡）

出雲風流花踊り（京都府登録文化財：無形民俗）

丹波七福神めぐり

※その他千歳町内に存在する国、府、市の指定・登録等文化財は数多くある。

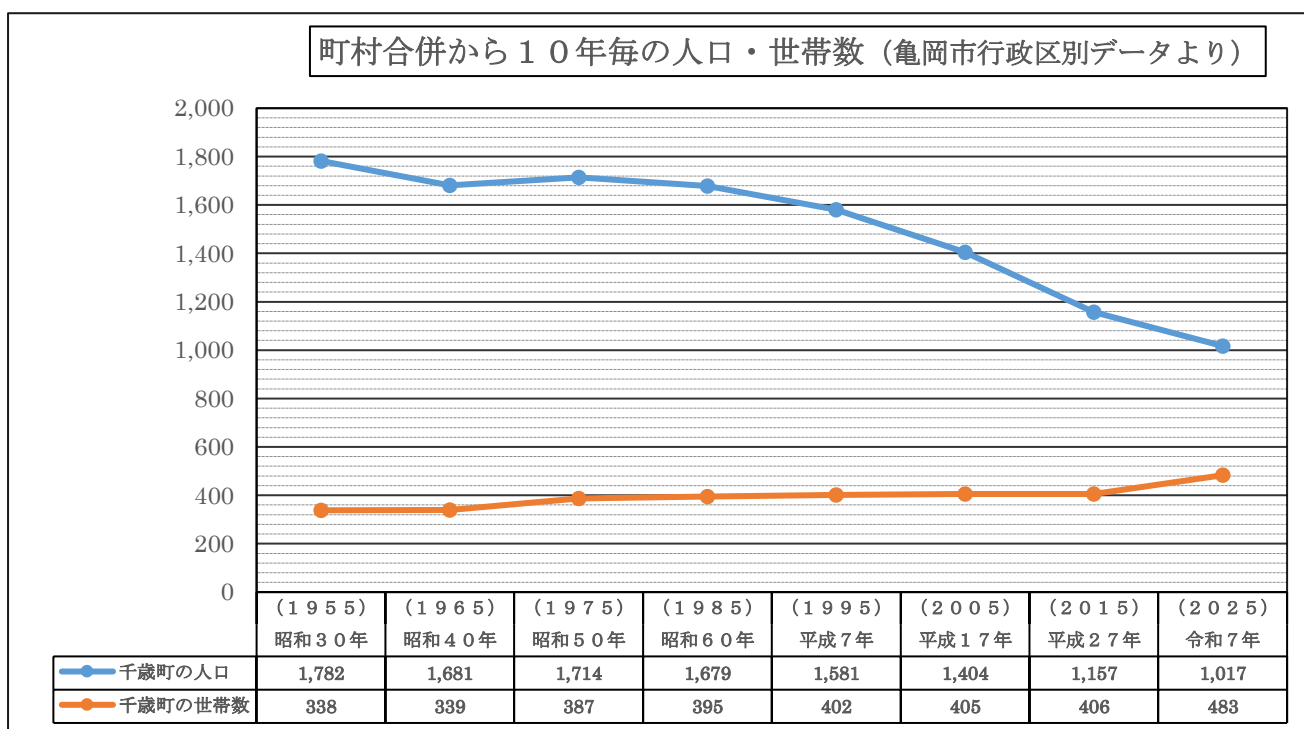
※まちづくりアンケートの自由記述欄で「好きなところ」「大切にしたい」と回答があった主なものを列挙した。



## Ⅱ まちづくりの現状と課題

この地域を「千歳」（千才）と名付けられたように、悠久の歴史を刻み、先人たちの力によって築かれてきた郷、豊かな自然に抱かれた「まほろば」と言えよう。しかし、グローバル化する社会情勢の変化と共に生活様式も変わり、安全・安心のまち「ちとせ」にも住むことに不安を抱える現状と課題が出てきている。

### 人口減少・少子高齢化



○千歳町の人口は、合併当時1,782人から令和7年までの70年間に43%減少している。

○この推移の中で、昭和50年頃に一旦増加している要素は、昭和45年から民間開発業者が着工した出雲台地区の住宅開発によるものと思われる。

○一方世帯数については、1.4倍に増加している。とりわけ、ここ10年間では1.2倍を示している。これは、住民基本台帳上の世帯数であり、同居しているものの世代間で世帯分離が進んでいることが伺われる。なお令和7年度の自治会加入世帯数は、349世帯となっている。また、1世帯当たりの人員は、合併当時の5.27人から令和7年には2.11人となっており、単身世帯や二人世帯（特に高齢者世帯）が増加していると推測される。

○まちづくりアンケートでは、約5割の回答者が「過疎化が不安」だと感じている。

○このように人口減少・少子高齢化により、地域コミュニティの低下が課題となっている。

## 空き家の発生

- 近年、高齢者のみの世帯が増加し、住家の継承者が未定のいわゆる「空き家予備軍」が潜在的に存在していると思われる。
- 空き家が発生すると、その管理状況にもよるが、屋敷内に止まらず周囲の生活環境に悪影響をもたらしかねない。延いては、地域のイメージダウンともなり得る。「特定空家等」に及んでいる物件は今のところ見当たらない。
- 幸い千歳町は、比較的「住み良いまち」との評価が高く、全てが空き家活用ではないが、平成27年度から令和6年度までの10年間では、33戸の移住実績がある。
- まちづくりアンケートでは、回答者の約3割が「少子高齢化・人口減少対策としての移住者誘致対策」の取り組みが大切だとしている。
- 千歳町は、京都府移住促進条例に基づく「移住促進特別区域」に指定され、行政も補助金制度を含め積極的な支援策を打ち出している。
- 国の法律に基づき、平成30年に「亀岡市空家等対策の推進に関する条例」（令和6年改正）が施行され「特定空家等」及び「管理不全空家等」になることを未然に防ぐ取り組みが進められている。
- 以上のことから、地域による空き家等の実態調査や移住者受け入れ活動などの実行が課題であるといえる。

過去10年間の移住世帯数

年 度	世帯数
平成27年度	4
平成28年度	1
平成29年度	1
平成30年度	3
令和 元年度	3
令和 2年度	4
令和 3年度	4
令和 4年度	6
令和 5年度	5
令和 6年度	2
計	33

※千歳町自治会新規加入世帯調べに基づく



移住者との交流会

## 農林業の動向

○令和４年に千歳町営農組合が実施した「営農に関するアンケート調査」から見る営農の実態は、就農者が高齢化している上、小規模営農のため兼業農家が多いこと、また後継者の目処が立っていないなど非常に先行き不透明な事態となっている。

千歳町の営農実態 ※営農に関するアンケート調査より

就業者の年齢層		就業形態		経営規模		５年後の後継者の目処	
～３０代	２％	専業農家	２５％	３０ａ以下	１７％	自分含む目処	４２％
４０代	７％	兼業農家	４３％	３１～５０ａ	２１％	法人等に目処	９％
５０代	１６％	法人等就業	６％	５１～７０ａ	１０％	後継者の目処無	４９％
６０代	２９％	農地所有非営農	２５％	７１～１００ａ	１５％		
７０代～	４６％	その他	１％	１０１ａ以上	１７％		

○林業については、里山のほとんどが個人所有の山林であるが、経営面で採算性が無いに等しいため、人の手が入らず荒廃が進んでいる。唯一特別地方公共団体である財産区管理会が奥山を中心とした一定範囲を管理している状況にある。

○まちづくりアンケートでは、「千歳町の好きなところは何か。」との問いに対し、最も多く選択されたのが「豊かな自然」（４７９人）であった。しかし、普段目の当たりにする自然は、生活に必要な資源を生産する野山であり、田畑が多くを占めており、人の手が入った「自然」そのものである。その自然の維持・保全が危ぶまれる状況にある。

○森林が荒廃すれば、土砂災害への危険性が増す。田畑が荒廃すると、景観が損なわれる。

○農業・林業はあくまで所有者の生業として捉えられてきたが、如何にして豊かな自然を保全、継承していくのか、地域全体としての大きな課題となっている。



耕雲寺からの棚田・田園風景



平の沢池から三郎ヶ岳を望む



## 文化・歴史・社会資源の保全と継承

○千歳町には、文化・歴史・社会資源が数多く存在する。改めて代表的な地域資源を記載する。

### 出雲大神宮

「丹波一の宮」とも呼ばれ、709年（和銅2年）の建立といわれている。大国主命と御後の三穗津姫命が祀られている。本殿は国の重要文化財に指定されている。縁結びの神様として有名。なお、毎年4月18日に行われる鎮花祭には、京都府の無形民俗文化財に登録されている「出雲風流花踊り」が奉納される。



### 千歳車塚古墳

出雲大神宮西方約600mのところにある前方後円墳で、5世紀代の古墳時代中期に築造されたと推定されている。国指定史跡。全長80mあり後円部は直径41m、高さ7.5m、前方部は幅45.5m、高さ6mの整美な姿を残す。毎年3月には、地元消防団による草焼きが行われ、古墳が保全されている。



### 丹波国分寺跡

国分寺は、聖武天皇が、五穀豊穡・国家鎮護のため741年（天平13年）に詔を発し、全国各地に建立されたもの。丹波国には、千歳町国分の現在地に建立され、当時の政治の中心地であった。境内の広さは南北247m、東西243mで、講堂・金堂・七重の塔が配置されていたとされる。現在、亀岡市において、「丹波NEW風土記の里整備構想」に基づき、整備を進めている。



### 愛宕神社

507年（継体元年）の創建といい、現存する本殿は鎌倉時代に造られたとされ、国の重要文化財に指定されている。愛宕神社は全国各地にあるが、この愛宕神社から分霊されたことから、愛宕の本宮と称される。祭神は火産靈神、伊邪那美神、大国主神が祀られている。毎年4月24日に「鎮火祭」が執り行われている。「火廻要慎」（火の用心）のお札を求めて多くの人が訪れる。



## 七谷川の桜とさくら公園

七谷川の堤防、和らぎの道、七谷川野外活動センター、さくら公園一帯は、丹波随一の桜の名所として名高い。約1,500本の桜並木が続き、開花期には多くの花見客で賑わっている。この時期を「亀岡さくらウィーク」として、夜間はライトアップが施される。さくら公園は、亀岡市の都市計画公園で、約1.5haの区域に28種280本の桜が植えられている。約5,000㎡の多目的グラウンドと約1,470㎡のさくらホール（体育館）を備える。



丹波地域随一のさくらの名所七谷川周辺

## 七谷川野外活動センター

亀岡市が、昭和58年に生涯学習の野外活動施設として開設された。スポーツハウス、芝生広場、キャンプ場、ツリーハウス、屋外調理場などが備えられており、市内外から1年を通じて多くの利用客がある。なお平成18年度からは、千歳町自治会が指定管理者として亀岡市から委託を受け、運営している。

令和5年度年間利用者数13,055人

令和6年度年間利用者数11,721人※同センター調べ



## 和らぎの道

牛松山の麓の豊かな緑、愛宕神社の鎮守の森、七谷川の清流を辿る、全長約2.2kmの散策道。桜、新緑、紅葉と四季の自然を感じながら、心和らぐ空間となっている。また和らぎの道は、丹波七福神めぐりの一部区間でもある。



## 丹波七福神

千歳町には、旧村時代の7集落それぞれに寺院がある。丁度7カ寺であったことから、先人が地域に福德をもたらすことを念じ、それぞれの境内に7柱の神を祀られたもの。日本一早く巡れるといわれており、アップダウンするが約5kmの道のり。毎年1月上旬に「ふるさと亀岡ガイドの会」による「丹波七福神めぐり新春ハイキング」が実施されている。お正月に七福神めぐりをするとご利益が多いといわれている。

- |               |                      |              |
|---------------|----------------------|--------------|
| 第一番 毘沙門天（神応寺） | 第二番 布袋尊（養仙寺）         | 第三番 大黒天（蔵宝寺） |
| 第四番 弁財天（金光寺）  | 第五番 恵比寿天（耕雲寺）        | 第六番 寿老人（極楽寺） |
| 第七番 福祿寿（東光寺）  | （※所在地はP3「千歳町の案内図」参照） |              |





○このように、千歳町には多くの地域資源があり、「訪れてみたいまち」としての魅力に溢れている。まちづくりアンケートでは、「好きなところは？」の問いに対し「自然が豊か」「都会に近くほど良い田舎」「治安が良い」に続いて「歴史・文化が豊か」を挙げた回答者が168人あり、住む環境への評価も高いといえる。反面、これら地域資源の保全や活用、継承という大きな課題がある。

○七谷川の両岸に植えられたソメイヨシノは、昭和3年に約100本、同48年に約100本植えられたと「ふるさと千歳」の郷土史に記載されているが、長い年月が経ち老木化している。ソメイヨシノの寿命は、適正な生育環境や適切な管理次第では、100年を超えることもあるとされているが、一般的には60～80年程度といわれている。

○出雲風流花踊保存会の後継者不足が表面化している。そのため地域の小学校に出前講習を開き、実際に小学生による花踊が実演されるなど普及啓発に努められている。また出雲区以外の地域にも入会を呼び掛けられているが、同会の継承が課題としてある。

○丹波七福神めぐりについては、マップ付きスタンプ台紙を参拝者に提供しているが、令和7年度に入り台紙を刷新した。(上記掲載写真) また、七福神道整備については、生活道路と関連する箇所から整備が進んでいる。



## 生活環境の向上

- 「住み続けたいまち」をめざしたまちづくりのため、以下に挙げた視点について現状と課題を探ることとした。

### 道路などインフラ整備

- 亀岡市中心市街地と南丹市園部町を結ぶ主要地方道亀岡園部線が千歳町を縦貫しており、重要な生命線となっている。毘沙門地内から中地内までは完成しているが、その北進となる北谷地内から小口地内までは、一部集落農道で整備された区間はあるが、未整備の状態にある。千歳町の均衡ある発展のために、全線開通が課題となっている。



令和2年主要地方道亀岡園部線  
千歳北工区開通

- その幹線道路に続く集落内道路は、狭隘な道路が多い。そのため緊急車両が進入できない事態も生じており、防災の観点からもネック箇所の整備が課題となっている。まちづくりアンケートでは、197人の回答者が「集落内の道路が狭い」と改善点を指摘している。
- 水道については、昭和47年に千歳簡易水道が創設され、以降町営管理がされてきたが、平成30年に上水道事業に統合され、亀岡市の上水道事業管理者へ移管された。より安全で、安定的な飲料水供給が実現した。
- 下水道については、国営圃場整備事業に併せて集落排水事業・川東地区が実施され、平成24年3月に供用開始された。その後平成30年からは、亀岡市の公共下水道事業管理者のもと管理運営がなされている。

### 防災・防犯・交通安全対策

- 自治会内に自主防災組織を編成し、定期的に防災訓練を実施するとともに、いざという時には、消防団と連携しながら対応に当たっている。防犯対策については、防犯推進委員会を中心に安全パトロールが実施されている。交通安全対策については、千歳町安全・安心のまちづくり推進会議を中心に交通安全街頭啓発を実施している。これらの活動は、安全・安心のまちづくりに最も重要であり、今後とも継続した取り組みが大切である。



交通安全街頭啓発

○まちづくりアンケートでは、取り組みへの重要性について、「地震・水害への備えや防災訓練など災害への対策」299人が最も多く、次いで「街路灯や防犯カメラの増設、安全パトロールなど防犯への対策」258人となっており、防災・防犯への関心の高さがうかがわれる。また「バス停や通学路での子ども見守りや通行車両の交通安全啓発」68人となっている。

### 買い物等移動手段の確保

○まちづくりアンケートで「千歳町の嫌いなところ(改善されたらいいなと思うところ)」を尋ねたところ、「買い物など日常生活に不便」との回答が356人に上った。

○その理由としては、自由記述のなかで、近くに「コンビニなど日常品が買える店舗がほしい」が9件あったが、「バスの増便」など公共交通関連に関する声が43件にも上っており、足の確保が切実な課題としてある。

○亀岡市が運営する「ふるさとバス」14系統のうち千歳町内を經由する路線は、川東線(F11)であるが、一般も利用できる川東スクール(F11)も運行されている。

令和6年度千歳経由のふるさとバス運行状況

路線名	キロ数	便数	年間利用者数	一日平均	一便平均
川東線(F11)	11.1 km	平日5休日5	37,615 人 (34,167)	103.1 人 (93.4)	10.3 人 (9.3)
川東スクール(F11)	11.1 km	平日3	10,947 人 (9,490)	30.0 人 (25.9)	6.6 人 (5.7)

※( )内数字は令和5年度の利用者数

※亀岡市担当課資料提供より抜粋

○1便当りの利用者数は、14系統平均5.0人の2倍強となっている。JR亀岡駅とJR千代川駅を結び保津町や馬路町にも經由し、平日はスクールバスも利用できるので、行政負担率を視ても、効率的かつ効果的な路線であると言える。そのため便数が増えれば、利用者も増加する可能性を秘めている。また、七谷川の桜見物客や丹波七福神めぐり、出雲大神宮などへの来訪者の利用増も期待できる。



○JR千代川駅については、千歳町自治会も加盟するJR嵯峨野線千代川駅整備促進協議会を中心に、早期整備完了に向け活動を進めている。

### いきいき高齢者への支援

○誰もが健康で安心した生活が送れる地域社会の取り組みが求められている。とりわけ千歳町においては、高齢化率が上がり、高齢者のみ世帯も増えている状況から、地域で支える活動が求められている。合わせて、元気な高齢者が社会貢献できる場づくりも、生きがいづくりに欠かせない。

○まちづくりアンケートによると、回答者のうち170人が「高齢者の見守り活動」が重要だとし、また115人が「高齢者を対象とした介護予防・健康維持対策」を望んでいる。



千歳ふれあいサロン

### すこやか子育て環境の整備

○子どもを安心して産み育てられる環境整備は、元気で活気のある地域社会を持続させるためには、必要不可欠である。

○まちづくりアンケートでは、千歳町の好きなところ（誇れるところ）として「豊かな自然」「都会に近くほど良い田舎」「治安が良い」などの意見が多い中、「教育環境が良い」（41人）「子育てのしやすさ」（25人）を挙げている回答者もある。



クリスマス会

○一方、嫌いなところ（改善されたらいいなと思うところ）の問いには、「公園など遊ぶところが少ない」との回答者が121人であった。また、「子育てしやすい環境整備」を求めた回答者は43人であったが、子育て世代と思われる人の割合が少ない中で、重要視すべき課題である。

### コミュニティ活動

○地域コミュニティを維持・活性化させるためには、自治会を中心として、各種団体が連携し、防災・防犯・環境美化・高齢者や子ども見守り活動など、地域に根差した活動が大切である。

○イベントや祭りを通じ、住民同士の交流や親睦を深めることで、地域の連帯性が強化される。





丹波七福神宝船まつり



令和の花踊り練り物行列

○ホームページや各戸配布の広報紙など、情報発信を積極的に行うことにより、住民のまちづくりへの関心が高まり、地域コミュニティの活性化へとつながる。



国際安全都市アジア市民大会での出雲風流花踊りの演舞

※千歳町自治会ホームページ「町日記」より

○しかし、人口減少による各種団体役員などの担い手不足や地域活動への参加率の低下が懸念されている。まちづくりアンケートでは、少数意見であるが「役が多すぎる」「行事が多い」などの意見も寄せられている。

以上、様々な視点からまちの現状と課題を取り上げてきたが、この現状をより良い方向へとつなげ、課題解決への道筋を辿るべく、まちづくりの指針を定めることとする。

### Ⅲ まちづくりの基本理念

#### ～住む喜び 訪れて心とらく 七福のまちづくり～

「まちづくりの現状と課題」で取り上げたように、人口減少の波は、全国的な流れとなり、それを止めるカンフル剤は見当たらない。しかし、千歳町には、他地域に劣らない魅力を秘めている。

まちづくりアンケートでは、5割を超える人が「住み続けたい」と回答。また、6割の人がこのまちを「好き」あるいは「どちらかといえば好き」と答えている。この住民の郷土愛を大切に作る取り組みを進める必要がある。反面、このまちが「嫌い」「どちらかといえば嫌い」合わせると1割の住民が不満を抱いていることになる。その原因を払拭する努力もまちづくりを進める上では、注意を払わなければならない。

この地に住もう人には喜びを。この地に住んでみたい人には温かく接し、共にまちづくりを。そして、訪れてみたい人には、このまちの素晴らしさが伝わるまちづくりを進めることが求められている。



### Ⅳ まちづくりの基本目標

七福神になぞらえて七つの目標を設定する。本プランは、概ね10年間を目標とする。

#### ○安全・安心のまちづくり

セーフコミュニティ活動を推進するまちを目指します。

#### ○都会と田舎が融合するまちづくり

都会の利便性と田舎の自然やゆとりある暮らしを併せ持つまちを目指します。

#### ○歴史・文化の薫り高いまちづくり

地域資源の保全や継承を大切に、郷土を誇れるまちを目指します。

#### ○高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり

高齢者が、社会貢献や生きがいのもてる環境づくりを目指します。

#### ○子どもが元気でのびのびと成長できるまちづくり

子どもが、心豊かな感性を育て、健やかに成長できる環境づくりを目指します。

#### ○豊かな自然・農林業と共生できるまちづくり

地域ぐるみによる環境保全への取り組み、荒廃地を防止するまちを目指します。

#### ○住んでみたい・訪れてみたいまちづくり

自然や歴史・文化に触れられる見どころを高めるまちを目指します。

## V 具体的な取り組み

本プランは、より良いまちづくりのため、地域住民ぐるみで取り組むことを基本とし、推進母体を千歳町自治会及びその支援を受ける千歳町安全・安心のまちづくり推進会議とする。同推進会議には、「まちづくり部」「環境美化部」「広報部」「防犯・交通・防災安全部」「いきいき健康部」「すこやか子育て部」（令和7年度部会再編）で構成されており、それぞれが分担し、七つの基本目標に沿って行動することとする。

### ○安全・安心のまちづくり

- ・ 自主防災会の組織及び資機材の充実
- ・ 自主防災会と消防団の連携強化
- ・ 危険個所の調査・パトロールの実施
- ・ ハザードマップの周知
- ・ 水害等避難行動タイムラインの周知（2022 作成「土砂災害」）
- ・ 住民参加による防災訓練の実施
- ・ 災害時要支援者の対応強化
- ・ 各家庭での備蓄啓発（2024 飲料水全戸配布）
- ・ 街路灯（防犯灯）・防犯カメラの増設
- ・ 防犯パトロールの強化
- ・ 交通安全啓発の推進
- ・ 道路・歩道の危険個所点検と改善（交通安全施設充実）



### ○都会と田舎が融合するまちづくり

- ・ ふるさとバスの利用促進と増便
- ・ JR 千代川駅の利便性向上
- ・ 幹線道路及び集落内道路の整備促進
- ・ 生活関連施設の誘致
- ・ 既存集落まちづくり区域指定制度の活用（移住促進）



### ○歴史・文化の薫り高いまちづくり

- ・ 丹波国分寺跡整備の早期完了（丹波國府の中枢）
- ・ 車塚古墳の保全（消防団による草焼き継続）
- ・ 七福神道の整備促進（日本一早まわり）
- ・ 市収蔵庫（旧千歳小学校校舎）の改善
- ・ 丹波ニュー風土記の里整備構想促進協議会参画
- ・ ふるさとウォークの開催
- ・ 盆踊りの復活
- ・ 各区主催の伝統行事の承継





### ○高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり

- ・ グラウンドゴルフを楽しむ会の定期開催
- ・ ふれあいサロン（カフェ）の開催（年齢不問）
- ・ 独居高齢者の見守り活動
- ・ 高齢者活動への支援
- ・ 敬老事業の開催
- ・ ちとせさわやか健康センターの運営
- ・ 買い物等移動支援の検討



### ○子どもが元気でのびのびと成長できるまちづくり

- ・ 子ども見守り活動（バス停等）
- ・ 子ども会とのタイアップ事業（クリスマス会等）
- ・ ゆりかごひろば環境保全支援（旧一の宮幼稚園）
- ・ 身近な公園の整備
- ・ 各区主催の夏祭りや地蔵盆の承継
- ・ 世代間が楽しく交流できる場の提供（運動会・宝船まつり等）



### ○豊かな自然・農林業と共生できるまちづくり

- ・ 獣害対策の強化
- ・ 耕作放棄地の解消
- ・ 営農組織の強化（農業法人化の推進）
- ・ 兼業農家が安定した営農可能な環境整備
- ・ 住民ぐるみでの環境保全（農地・水・環境保全協議会連携）
- ・ 山林財産区管理会の活動支援



### ○住んでみたい・訪れてみたいまちづくり

- ・ 空き家の実態調査実施
- ・ 移住者受け入れの勉強会開催
- ・ 移住者交流会の開催
- ・ ホームページを活用した移住希望者 PR 作戦
- ・ おもてなしの環境整備（美化活動・花いっぱい運動）
- ・ 七谷川のさくら保全と植樹区域の拡大
- ・ 観光案内板増設・観光マップ更新
- ・ 七谷川野外活動センターのホームページ活用（利用者増）
- ・ 文化・歴史・社会資源の保全と継承、活用
- ・ ふるさとガイドの会との連携（丹波七福神新春ハイキング）



## VI まとめ

---

私たちの住むまち、千歳町は、今年も七谷川の桜が見事に咲き誇り、多くの人々で賑わいました。周辺道路などが整備され、年間を通して丹波七福神めぐりや出雲大神宮への参拝者などが訪れるまちへと発展しています。また、念願であった圃場整備事業が完成し、農地保全の基盤が整いました。

一方で少子高齢化が一段と進み、高齢者対策や子育て環境の整備、また、防災、防犯対策や農業の担い手確保が大きな課題となっています。

これまで、千歳町自治会は、亀岡市が進める「セーフコミュニティ」の取組として、平成21年に「千歳町安全・安心のまちづくり推進会議」を設置し、まちづくりの指針となる「七福プラン」を取りまとめました。以降、このプランに基づいた取組を進めてきましたが、社会情勢が大きく変化し、プランの見直しが必要となっていました。

そこで、令和6年度に中学生以上の町民を対象にまちづくりアンケートを実施し、改めて町民の皆様のご意見をお伺いしました。

この度、その結果を踏まえ、今後10年間を見据えた新たなまちづくり計画(**七福プラン Version II**)を取りまとめました。このプランでは、基本理念を「**住む喜び 訪れて心とらぐ 七福のまちづくり**」とし、七つの基本目標を定め、具体的な取組を示しています。

今年、亀岡市制70周年並びに千歳町自治会設立70周年の節目の年を迎えました。私たちは、先人が守ってこられた自然が豊かで歴史・文化が薫る千歳町を次の世代へ繋いでいく行動をしていかねばなりません。

今後は、この「七福プラン(**Version II**)」を指針として「まちづくりの主役は自分たち」を合言葉に安全で安心して暮らせ、活力のある「ふるさと千歳」のまちづくりに皆で力を合わせていきましょう。

あとになりましたが、「七福プラン(**Version II**)」の取りまとめにご尽力をいただいた「まちづくり部」の皆様に感謝と御礼を申し上げます。

千歳町自治会

千歳町安全・安心のまちづくり推進会議

会 長 廣瀬 照雄

# 資 料



## 千歳町安全・安心のまちづくり推進会議設置要綱

### (設置)

第1条 千歳町においてのセーフコミュニティの取組みを通じて、住民がより安全で安心に暮らすことのできるまちづくりを推進するため、千歳町安全・安心のまちづくり推進会議設置要綱（以下「推進会議」という。）を設置する。

### (任務)

第2条 推進会議は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 千歳町におけるセーフコミュニティ（安全・安心のまちづくり）プランの実施計画策定に関すること。
- (2) 千歳町におけるプランの取組推進及び評価に関すること。
- (3) その他安全・安心のまちづくりの推進に関すること。

### (組織)

第3条 推進会議の委員は、次に掲げる者のうちから自治会長が委嘱又は任命する。

- (1) 地域の安全・安心のための地域活動を行う団体の代表者及び構成員。
- (2) 地域における医療・教育・福祉に関わる関係者等。
- (3) その他自治会長が必要と認める者。

### (任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- (1) 充職名をもって充てられた委員の任期は、その職にある期間に限る。
- (2) 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (役員)

第5条 推進会議に会長及び副会長を置く。

- (1) 会長は、自治会長をもって充てる。
- (2) 副会長は、委員のうちから会長が指名する。
- (3) 会長は、会務を総理し、推進会議を代表する。
- (4) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

### (会議)

第6条 推進会議は、必要に応じて会長が招集し、会長が議長となる。

- (1) 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の協力者等の出席を求めることとする。

### (専門部会)

第7条 推進会議に専門部会を設置することができる。

- (1) 専門部会は、会長が指名するものをもって充てる。
- (2) 専門部会は、第2条に掲げる事項についての基本的な方針を協議する。

### (庶務)

第8条 推進会議の庶務は、自治会において処理する。

### (その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、推進会議の運営に関して必要な事項は、会長が別に定める。

附則 この要綱は平成21年5月31日から施行する。

令和7年度 千歳町安全・安心のまちづくり推進会議組織図

会長（自治会長）

副会長（自治会副会長）

まちづくり部

まちづくり計画に関すること  
移住・定住対策に関すること  
ふるさと研究に関すること  
丹波七福神宝船まつりに関すること  
丹波七福神新春ハイキングに関すること  
その他まちづくり活動に関すること

環境美化部

花いっぱい運動に関すること  
ガーデニング教室に関すること  
その他環境美化活動に関すること

広報部

ふれあいニュース発行に関すること  
ホームページ更新に関すること  
その他啓発活動に関すること

防犯・交通・  
防災安全部

安全・安心パトロールに関すること  
交通安全街頭啓発に関すること  
防災訓練に関すること  
その他安全安心まちづくり活動に関すること

いきいき健康部

グラウンドゴルフに関すること  
ふれあいサロン（カフェ）に関すること  
その他健康・交流の場づくりに関すること

すこやか  
子育て部

子ども見守り活動に関すること  
子ども会とのタイアップ事業に関すること  
野外活動に関すること  
その他子育て支援に関すること

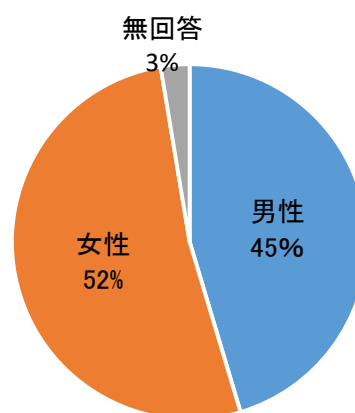
# 千歳町安全・安心のまちづくりアンケート

## 調査報告書（概要版）

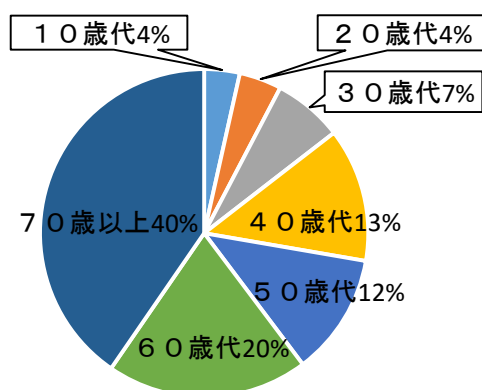
本調査は、「ふるさと・ちとせ」へのみなさまの想いを把握すべく、中学生以上の町民を対象にアンケート調査を実施させていただきました。  
 ～ ご協力ありがとうございました。～  
 ここに、その調査結果（概要）をまとめましたので、皆様にご報告します。  
 今後は、本調査結果をもとに、より良い千歳町のまちづくりを進めてまいりますので、みなさまのご協力・ご支援をお願いします。

調査対象者数	回収数	回収率
894	603	67.4%
調査世帯数	回収数	回収率
354	260	73.4%

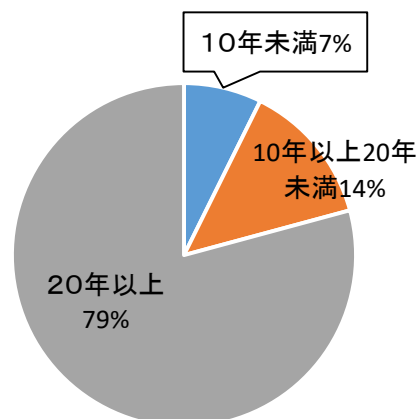
問1(1)性別



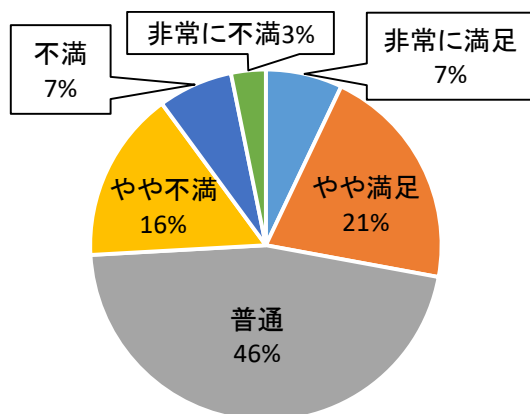
問1(2)年齢層



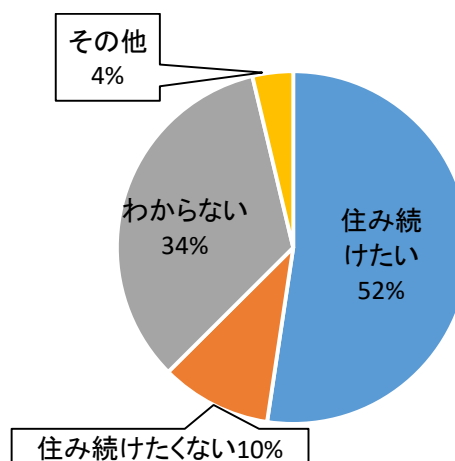
問2 千歳町に住まれてどれ位経ちますか。



問3 千歳町の住みやすさについてどう思われますか。

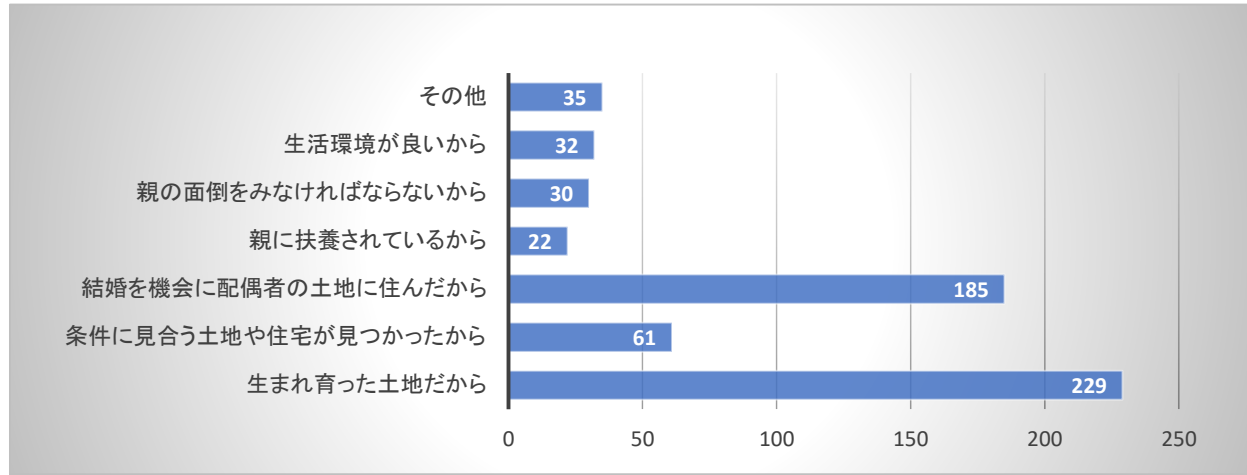


問4 今後も千歳町に住み続けたいですか。

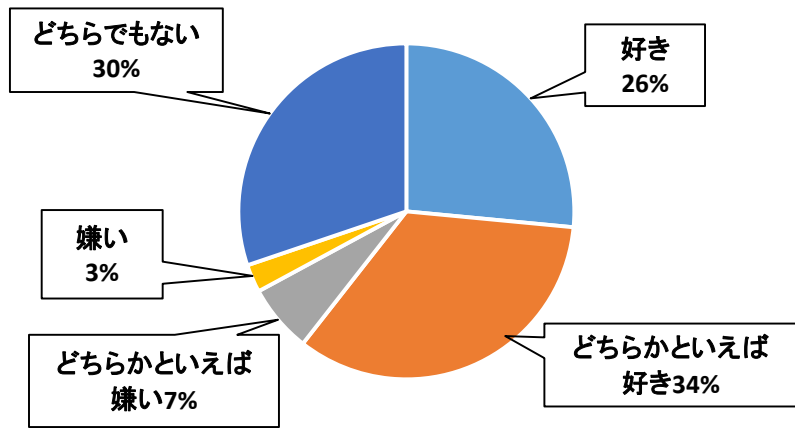




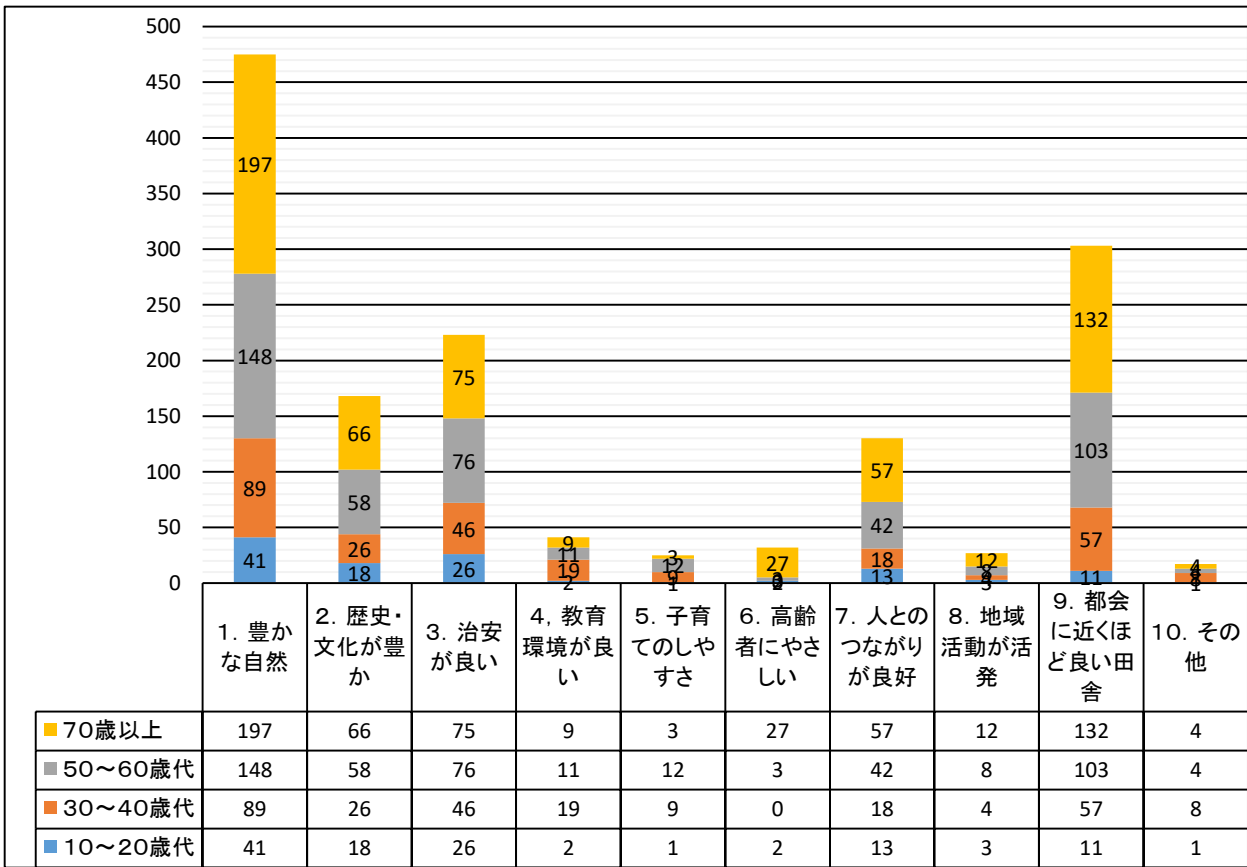
問5 千歳町に住んでおられる最も大きな理由は何ですか。



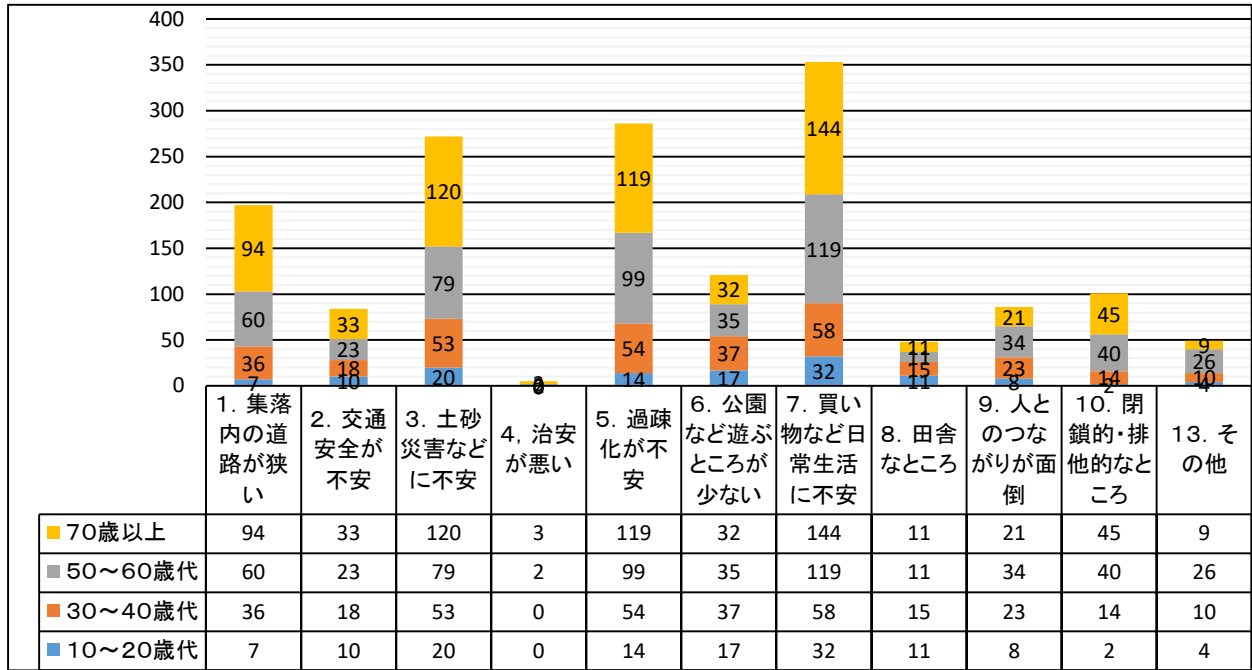
問6 千歳町が好きですか。



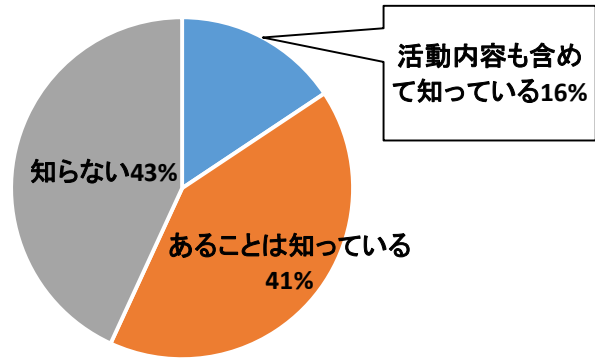
問7 千歳町の好きなところ(ほこれるところ)は何ですか。(3つ選択)



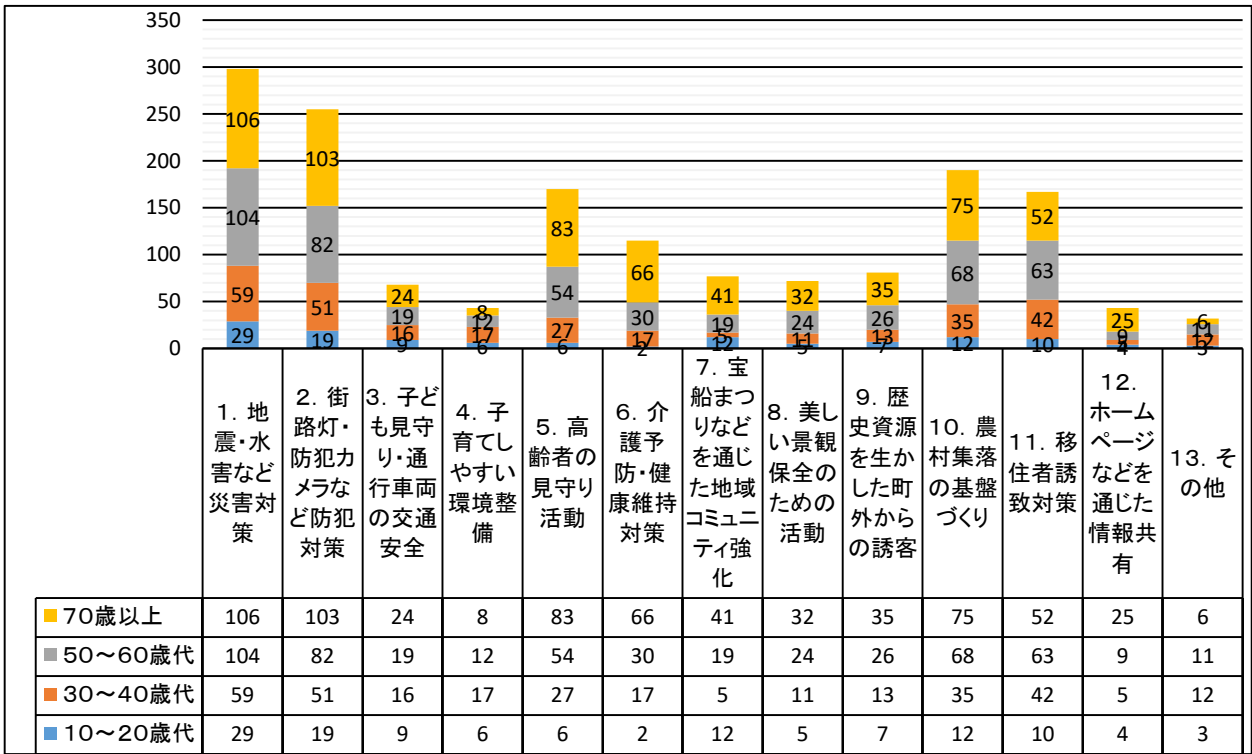
問8 千歳町の嫌いなところ(改善されたいなと思うところ)は何ですか。(3つ選択)



問9「千歳町安全・安心のまちづくり推進会議」を知っていますか。



問10 千歳町の安全・安心・活性化についてどんな取り組みが大切か。(3つ選択)



問11 千歳町で特に好きな場所、守りたい景観・風景、大切にしたい歴史・文化・風習などがありますか。

千歳町で特に好きな場所、守りたい景観・風景

(回答者数143)

七谷川(周辺・桜・新緑)	82
和らぎの道	5
さくら公園(桜・体育館)	14
野外活動センター	4
平野沢池(ハス・夕日反射)・水鳥の道	4
田園風景(棚田風景)	35
遠方から見た千歳集落と山並みの融合	4
耕雲寺等からの眺望・夕焼け	24
豊かな自然・自然と融和した農村集落	10
静寂で心安らぐ竹林・森林・山	4
国分寺の乳イチョウ	2
古民家カフェ	1
ゆりかご広場	1
時代劇に利用される歴史的建造物	1

大切にしたい歴史・文化・風習

(回答者数70)

丹波七福神の7ヶ寺(めぐり)	24
丹波国分寺跡(国分寺)	16
出雲大神宮	38
愛宕神社	5
車塚古墳	5
歴史ある神社仏閣	5
出雲風流花踊り	10
神社仏閣の祭事	3
毘沙門区の竹細工	1
千歳の数え唄	1
正月とんど焼きなど伝統行事	2
子供の成長を地域で支える伝統	1
宝船まつり・運動会などの行事	2
七谷川の桜並木を守る地域活動	1
年間の歳時記的食糧・郷土料理	1

問12 これからの千歳のまちづくりについてのご意見・ご提案

公共交通関連(43)	路線バスの増便、公共交通の充実(35) 有償輸送サービス等の導入(5) JR千代川駅のバリアフリー化(2) その他(1)
防犯・交通安全・防災関連(21)	街灯(防犯灯)の増設(8) 制限速度の抑制、信号機の設置(2) 防災訓練、危険個所の改修(8) 防犯対策、防犯カメラの増設(3)
生活関連施設関係(21)	コンビニ等買物施設(9) 公園・広場等遊べる施設(7) バス停やゴミ集積所等をおしゃれに(景観配慮)(1) 千歳さわやかセンターの利用促進(1) ゆりかご広場の利用促進(1) その他(2)
観光・賑わいづくり関連(14)	七谷川の桜保護、他品種植樹による長期間の鑑賞策(3) 七谷川周辺施設の再整備(2) 七福神めぐりコースの充実(1) 牛松山登山道、サイクリングロード整備、バルーン競技誘致(1) 日帰り温泉宿開設、観光スポット(夕焼けスポットなど)の創設(3) 名所のPR強化(3) 宝船まつりなど地元事業の強化による来訪者増加策(1)
神社仏閣史跡関連(8)	丹波国分寺跡の早期整備完了(3) 出雲大神宮に関すること(3) 住民が郷土史を深めることは大切。(1) 歴史的文化財、遺産の継承対策の具体化(1)
農林業関連(21)	獣害対策の強化(6) 農機具のシェアや法人設立など持続可能な農業の仕組みづくり(11) 新規就農者の誘致(3) 農村集落である以上自治会組織と農業組織を合わせたまちづくり(1)
移住定住施策関連(20)	若者が出ていかないまちづくり、若者の結婚促進(6) 移住者誘致の受け入れ環境の整備(8) その他(6)
子育て関連(8)	子育てのしやすい環境づくり(ふれあいニュースでの小学生の思い実現)(4) 地元の良さを体験できる工夫(4)
コミュニティ事業関連(12)	サンガ応援ツアーの継続(1) 現コミュニティ事業(運動会、宝船まつりなど)の継続(3) コミュニティ事業の縮小(催行のための役が多い)(6) その他(2)
その他(42)	自治委員、区長に女性を登用しては。(2) 行事が多く、役回りも多過ぎる。(5) その他(35)

※詳しい「アンケート調査報告書」は、千歳町自治会公式ホームページ(<https://chitose-jichikai.com>)をご覧ください。

令和7年1月

千歳町自治会

千歳町安全・安心のまちづくり推進会議



## 参考文献一覧

### ○亀岡市ホームページ

- ◆亀岡市内の指定・登録等文化財一覧
- ◆亀岡市行政区別データ（町別人口の推移・町別世帯数の推移）
- ◆公共交通対策特別委員会資料（令和7年5月19日開催）

### ○営農に関するアンケート調査結果報告書

（令和4年7月 京力農場プランづくりに係る調査報告書：千歳町営農組合）

### ○千歳町自治会ホームページ

- ◆千歳町の紹介
- ◆名所・旧跡
- ◆丹波七福神めぐり
- ◆公共施設

### ○ふるさと千歳

（昭和62年12月 編集：千歳町誌編纂委員会 発行：千歳町自治会）

### ○千歳町安全・安心のまちづくりアンケート調査報告書

（令和7年1月 千歳町自治会 千歳町安全・安心のまちづくり推進会議）

---

## 本計画に携わった委員名簿

【発行責任者】 廣瀬 照雄

【編集責任者】 古林 峰夫

【編集委員（まちづくり部員）】

名倉 洋一	廣瀬 義治	廣瀬 正春	鴨井 一男
廣瀬 厚	廣瀬 均	清水 浩次	山本 正人
清水 易	山根 直	氷置 克之	小川 房嗣
廣瀬 義直	野々村 豊	安藤 茂樹	野々村淳美
田中 幸次			



【千歳町自治会 HP】

### 千歳町自治会

〒621-0002 亀岡市千歳町千歳垣根 2-3

TEL/FAX 0771-22-0682

e-mail jichi-chitose@theia.ocn.ne.jp

HP <https://chitose-jichikai.com>